

周南たちばな学園カリキュラム【特活】

	年少	年中	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3			
集団生活	自発的・自治的に活動する														
	いろいろな人と自分の考えを伝え合おうとしている。	友達と仲良く遊んでいる。			教師との信頼関係	教師を介した友達との交流	教師を介さない友達との交流	集団の中で自発的に自分の役割を果たそうとしている。	自分の考えと友達の考えの類似点や相違点に分かり、教師と共に合意形成をしている。	多くの意見を比べ、よりよい考えを生み出している。	自分たちで活動を創り、その中で自分のできることを考えて取り組もうとしている。	折り合いをつけた話し合いをし、目的に沿った合意形成を自分たち自身でしている。	自分のよさを生かし、地域社会に参画しようとしている。		
自己実現	自分のできることは自分でしている。	自分のすべきことに取り組んでいる。			自分自身を振り返り、次の目標を立て、実践している。			なりたい自分を思い描き、実現に向けて行動している。	将来の自分を思い描き、実現に向けた行動をしている。						
健康安全	発災時等に自分の命を自分で守る。	正しい知識を身に付け、危険な時・場に遭遇した際には適切な行動をとる。			自分の命を守るとともに地域に貢献する。										
	【園で】 自分の命は自分で守ろうとしている。	【小学校で】 災害発生時には落ち着いて行動することが分かり、避難している。			【中学校で】 災害発生時には落ち着いて行動することで自分の身を守り、集団行動をとっている。										
	【地域で】 自宅等での災害時にも約束を守って行動している。	【地域で】 訓練に参加することで避難場所等を知り、地域住民としてどのように行動すればよいか分かっている。			【地域で】 地域の一員として地域防災活動に取り組み、下級生や地域住民の身の安全に気を配り行動している。										
	交通ルールを守り、安全に歩いている。	交通ルールの大切さと危険性を学び、登下校に活かしている。			社会のルールを守り、交通安全に関するルールを守っている。										
	水の感触を全身で楽しむとともに、安全に遊んでいる。	川や海など水辺での活動を行う時の心得や危険性を知っている。			水に関する発災時に自分と他者の命を守っている。										
	食事の役割や大切さを知っている。	体に必要な栄養素やその働きを知り、食事の役割や大切さを理解している。			生涯の食生活を見通し、安全や環境、おいしさに配慮して調理したり、健康的な食生活を送ったりしている。										
交流	異校種、異学年の交流を通して、自分の思いを言葉にして伝える。※異校種＝幼稚園や保育園、小中学校を指す。	異校種、異学年の交流を通して、思いやりや相手に応じた接し方を高め、心構えをもつ。			異校種、異学年の交流を通して、自分の成長を振り返ったり相手思いやる力を高めたりする。										
	関わる対象の優れたところを見つけ、あこがれをもっている。	親しみの気持ちを持ち、異校種の他者と関わっている。			社会のルールを守りながら、異校種・異学年の幼児や児童、生徒への愛情をもって関わっている。										
	異校種の教員との関わり合いを通して、小学校生活の見通しをもっている。	異校種の教員との関わり合いを通して、中学校生活への見通しをもっている。			異校種の教員との関わり合いを通して、自分の成長を振り返ったり異校種の園児、児童との関わり方を知ったりしている。										
	地域との関わり(敬老会等)、異校種との関わり【園、小中学校】 地域との関わり合いや体験を通して、進んであいさつをしたり安心した生活を実感したりしている。														
①施設交流 ②登校体験 ・小学校(生)への安心感や期待感をもっている。 ・登下校への安心感を感じている。				①幼稚園との交流				①地域ボランティア ・地域との関わりを通し自己有用感・肯定感をもっている。							
				②校区あいさつ運動 ・中学校(生)への安心感や期待感をもっている。											